

監修
消化器内科 島田友香里医長
薬剤部 前万紀子
初版 2021.9
改訂 2026.4

※()内は1日薬価
(当院採用銘柄)
2026.4時点

- 【便秘症治療の基本】
- **非刺激性下剤**を毎日適量内服
 - 排便回数は2回/日～1回/日を目標に、便性を整えていく
 - **刺激性下剤・外用薬**はオンデマンド治療として使用する

機械的消化管閉塞又はその疑いがある患者

→ **消化器内科にコンサルト** 

腎機能障害、年齢確認

右記条件以外

浸透圧性下剤

eGFR < 30 または Cr > 1.5 ~ 2.0
75歳以上の高齢者

マグミット (¥50.4/2g)

高Mg血症
症状：嘔吐、徐脈、傾眠、筋力低下など

- ・ **高Mg血症**に注意
- ・ 高齢者、腎機能障害患者、長期投与患者
→ 定期的な血中Mg測定を推奨
- ・ 相互作用に注意

モビコールLD (¥118.6/2包)

- ・ 粉末を水に溶解し服用(最大6包まで増量可)
- ・ 患者に合わせ調節
- ・ 初回用法は1日1回(以降1日1~3回)
- ・ 増量は2日以上の間隔あける

効き目が穏やか
安価
臨床での使用経験が豊富

効果不十分

下記薬剤と併用
または
下記薬剤への変更

目安
マグミット
1.5g程度まで

調節しやすい
溶解後の味の好みに個人差あり
効果判定に時間を要する
特定の背景の患者がある場合は初回から選択可※保険上、他の下剤(OTCを含む)の使用歴が必要

水分分泌促進

アミティーザ 12µg
(¥186.4/4Cap)

- ・ 1日2回 **食後**1回2Cap
- ・ 用量依存的に効果発揮
- ・ 一包化○ (30日間)
- ・ 粉砕×
- ・ 簡易懸濁○ **適1**
※チューブフラッシュを推奨
- ※妊婦に禁忌
- ※投与初期に悪心(若年に多い)

若い人への使用は悪心に注意
悪心のリスクがある患者は少量から開始

水分分泌促進 + 腹痛軽減

リンゼス錠 0.25mg
(¥57.8~115.6/1~2錠)

- ・ 1日1回 **食前**1回1~2錠
- ・ 腹痛を改善
- ・ 一包化、粉砕×
- ・ 簡易懸濁○ **適1**
- ※下痢を避けるために投与開始時は前治療を減量するか切替え
→ 可能な限り単剤投与へ移行

他剤で下痢を経験した患者は避ける
下痢しやすいため **食前**
効き過ぎの場合は減量又は休薬して低用量で再開

水分分泌促進 + 蠕動運動亢進

グーフイス錠 5mg
(¥154.8/2錠)

- ・ 1日1回 **食前**1回2錠
- ・ 腸の動きが悪い場合に使用可
- ・ 一包化、粉砕○
- ・ 簡易懸濁○ **適1**
- ※重篤な肝障害に使用不可
- ※併用注意あり(P糖タンパク質阻害作用)

肝障害時使用不可
ウルソ併用で効果減弱
胆嚢切除患者にも使用可
腹痛のある患者は避ける
便意の改善を期待できる

オンデマンド治療として使用

刺激性下剤：センノシド(¥5.5~11/錠)、ピコスルファートナトリウム(¥73/本)

外用薬：グリセリン浣腸液(¥118.5~166.50/個)、新レシカルボン(¥73.70/個)

備考) ・オピオイド服用患者はスインプロイク、アミティーザを推奨
・漢方薬はエビデンスレベル低いため除外した(大黄含有製剤は頓用で使用を推奨)

参考文献：添付文書、便通異常症診療ガイドライン 2023
IF、アミティーザカプセルの簡易懸濁による経鼻経管
チューブを介した投与：医療薬学40(5)285-290(2014)